

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ウッドライズ仙台	階数	地上10F・地下1F
建設地	宮城県仙台市	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	550 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年2月24日
敷地面積	1,250 m ²	作成者	檜垣 政弘 長谷部 健人
建築面積	934 m ²	確認日	2023年2月24日
延床面積	10,191 m ²	確認者	石井 浄 住吉 力



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.0

LR のスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>本建物は、仙台市の中心部に位置する木材をアクセントに用いたアイコンックな外装デザインが特徴的な事務所ビルである。共用部にリフレッシュスペースや共有の会議室を設けるなど、他のオフィスビルと差別化を図った付加価値の高いオフィス環境を提供している。</p>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> サッシ遮音等級はT-2以上を採用し音環境の良化に配慮する。 適切な照度及び細かい点滅区分により、光環境の良化に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物コンセプトに基づく内装計画により、快適な居住性に配慮する。 耐用年数の長い配管材料を採用し、配管材の長寿命化に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋上にも積極的に緑化を行い、生物資源創出に配慮する。 公開空地を設け、地域のアメニティ貢献に配慮する。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 適切な断熱を行い、建物外皮の熱負荷抑制に配慮する。 LED照明等の採用により、エネルギー使用量削減に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 節水効果のある水栓等を採用し、水資源保護に配慮する。 リサイクル材を採用し、非再生資源の使用量削減に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼設備を使用せず、大気汚染防止に配慮する。 適切な駐輪・駐車台数を確保し、周辺の道路インフラへの負荷抑制に配慮する。 風環境調査を実施し、周辺の風環境に影響を及ぼさないよう配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される